

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4 年 1 月 4 日

アンケート期間:令和 3 年 11 月 1 日～令和 2 年 11 月 30 日

事業所名 おひさま

保護者等数(児童数) 26人 回収数 21人 割合 80 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	4		3	・通所前に一度見学に行っただけで、実際子どもが事業所で活動している場面を見ていないので分からない。 ・場所は見学に行ったので分かるが、何人で活動しているのか分からない為。	6人以上の時には療育室を2つに分けるようにしている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	2		5	・先生の名前は連絡ノートに書いてありますが、実際にどんな先生なのか分からない。	職員照会プリントを作成して配布している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	4		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18			3		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19	1		1	・年に1回の計画書ではもちろんフィードバックが有るが、毎回・都度は連絡帳でしかないのが残念。	定期的な面談を行うようにしていく。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18			3	・計画書に対するフィードバック、どうい課題に対してどう支援されたか都度のフィードバックがリンクしていないような気がする。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	1			・とても満足しています。 ・毎回担当が変わるので、一人一人が息子の課題共有してくれているのか疑問。	計画をスタッフ全員で共有し、支援を行っていく。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17	2		2	・室内や戸外などいろいろ工夫してもらっています。 ・イベントなどを開催したりして、工夫されています。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		2	15	・お外遊びの際、公園で障がいのない子と接することがあるようです。 ・聞いたことがありません。	
保護者へ	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19		2		・給食の件はいつ再開されるのか。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	16	2	1	2	・初めての利用だったので、もう少し余裕をもって詳しく説明して欲しかったです。 ・こちらからの希望は出来るが、今何が出来なくてどう支援されたかが都度分からない。	保護者様の思いや願いをしっかりと聞き取りさせていただき、計画に反映できるようにしていく。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	11	2	4	4	・困っていることについて、それは良くないと一方的に注意だけされ、閉塞感を感じたことがあった。	保護者様の思いに寄り添いながら、丁寧に対応していく。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	18	3			・送迎の時に話をしてもらいます。 ・連絡ノートだけでなく、言葉でのやりとりがあると安心します。 ・子どもについてたくさん褒めてはもらえるが、発達状況、課題については教示がない。	送迎での聞き取り、連絡ノート必要であれば面談訪問し、共通理解に繋げていきたい。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	3	4		・面談もあり、相談で助かってます。 ・たまにしてくれるとありがたいです。 ・コロナ禍の為、行われていない。	送迎、電話、ノートによるやり取りなどで対応していく。

の 説 明 等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	8	8	・忙しい人にはその方がありがたいです。 ・あるとうれしいです。	希望が増えていけば社内で検討していく。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15	5		1	・進路について、とても熱心に相談にのっていただいた。感謝しており、保護者である私自身が嬉しかった。 ・困った時はいつも相談にのってもらい助かっています。 ・電話相談をした際、丁寧に説明していただきました。 ・いろんな提案をしてくださったのでとても助かりました。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	1	1	・送迎やメールなどで情報伝達が出来、大変助かっています。 ・連絡ノートでその日の活動を書いていますが、言葉でもいいので聞きたいです。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	3	4	5	・行事等プリントをいただいたりしているので分かりやすい。 ・毎回の連絡帳以外の手段で見たり、聞いたりしたことない。	より細やかな情報発信が出来るよう努めていく。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	20	1				入社時に扱いの説明をし、徹底管理している。
非 常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	9	4	2	6	・訓練されているか知らない。	訓練を実施する時には前後にて、お知らせしていく。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	2	1	11		年2回行っているが、保護者全体に周知してもらえるよう、伝達手段を検討していく。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	21				・その日の気分にもよりますがたのしみにはしています。 ・いつも今日はおひさまの日だよと言うと、喜んで用意をして、車が来ると「行ってきます！」とハリきって行っています。 ・毎回おひさまに行くという喜びます。 ・先生方には優しくしてもらっているようで、通所はとても楽しそうである。 ・「楽しかった」とは毎回言っているのだ。	
	23	事業所の支援に満足しているか	19	2			・満足しています。いつもありがとうございます。 ・いろんな活動や経験をさせてくれていたのでとても感謝しています。	当事業所で出来る範囲で要望にお応えしていく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3 年 12 月 17 日

公表:令和 4 年 1 月 4 日

事業所名 おひさま

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		6人以上ご利用の時には2グループに分けて活動しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○			マンツーマンで対応しているが、全員が高い専門性を持っている訳ではないので、引き続き研修を行ってきたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			バリアフリーの対応は現在していないが、必要に応じて改善を図っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			引き続き除菌を心掛け、清潔を保っていく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			全体へは文書による共有が多く、個々の職員との話し合いが中心なので、より多くのスタッフが参加できる機会を設けていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者の意向があれば可能な範囲で、1つずつ確実に対応していく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		会社で協議し、取り入れるか検討していきたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			支援スキルを向上できるような研修を行ってきたい。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			リタリコのアセスメントツールを活用していく。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			引き続き季節の行事を取り入れ、固定化しないよう工夫していく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			書面での共有なので、打ち合わせが出来るようにしていく。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			記録から支援の改善に繋がるような打ち合わせの時間を設けていく。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者、管理者など、適した者が参加している。
	22	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	必要に応じて努めていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	医療機関との連携はとれていないが、保育園施設訪問事業所と連携をとっている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	医療的ケア時は現在利用されていないが、要望があれば応えられるよう努めていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		要望があれば可能な限り対応していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者からの要望があれば対応していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している		○	適した者が参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っている。不明な点があれば、その都度対応していく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在要望がないので、行う予定はない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		入社時全員に取扱いについて説明している。引き続き、紛失、漏洩がないよう注意していきたい。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	指示書はないが、契約時にしっかりと聞き取りを行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		インシデント・アクシデント表があり、その都度作成、共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	現在身体拘束を行うようなお子さんがいないので記載していないが、必要に応じて説明、了承を得た上で記載していく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。